

項目		説明
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	選択的縦隔リンパ節郭清は真に術後合併症発生率を減少させるか-NCDデータを用いたリアルワールドデータ解析-
	研究目的	肺癌根治手術の現在の標準術式は「肺葉切除+縦隔リンパ節郭清」ですが、このうち縦隔リンパ節郭清には広範囲の郭清を行う『系統的リンパ節郭清』と、肺癌の存在部位に応じた一部のみを郭清する『選択的リンパ節郭清』があります。「選択的リンパ節郭清」は切除範囲が狭いため理論上、術後合併症発生が少ないと言われてはいますがそのエビデンスはまだ立証されていません。今回、本邦の大規模手術データベースである「NCDデータベース」に蓄積されたデータを解析して、『選択的リンパ節郭清』が『系統的リンパ節郭清』よりも術後合併症発生率が低く低侵襲的な手術法であることを評価する目的で本研究を行います。
	研究対象者	2014年1月1日から2019年12月31日に、当センターも含め全国のNCD参加施設において原発性肺癌に対し肺葉切除+縦隔リンパ節郭清術を施行された患者さん。
	研究期間	西暦 2022 年 2 月 15 日 ~ 西暦 2023 年 2 月 28 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理について の責任者	当センター 研究責任者	呼吸器外科 足立広幸
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	呼吸器外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし